

循環器内科

得意な疾患

- 不整脈疾患 ●虚血疾患

得意な治療

- カテーテルアブレーション
- 経皮的冠動脈形成術

New 新しく導入した治療

- パルスフィールドアブレーション
(より安全な不整脈治療法)

リウマチ・膠原病内科

得意な疾患

- 膠原病全般

得意な治療

- 関節リウマチに対する生物学的製剤やJAK阻害薬を用いた治療
- 他の膠原病に対する各種免疫抑制剤を用いた治療

New 新しく導入した治療

- 上記にあるような各種新薬の導入

形成外科

得意な疾患

- 眼瞼下垂 ●顔面皮膚腫瘍

得意な治療

- 上記疾患の処置、治療

New 新しく導入した治療

- 糖尿病性足潰瘍、慢性静脈不全による足潰瘍に対するヒト羊膜使用創傷被覆材(エビフィックス®)を用いた先進的治療

消化器内科

得意な疾患

- 肝臓がん ●すい臓がん
- 早期胃がん、早期大腸がん

得意な治療

- 肝臓がんのラジオ波焼灼療法、薬物療法
- すい臓がんの診断、治療
- 早期胃がん、早期大腸がんの内視鏡的摘出手術
- 鎮静剤使用による辛い内視鏡

泌尿器科

得意な疾患

- 前立腺肥大症 ●尿路結石症

得意な治療

- 泌尿器がんに対するロボット支援手術
- 泌尿科良性疾病(前立腺肥大症・尿路結石症)に対する内視鏡手術

New 新しく導入した治療

- 前立腺肥大症に対する低侵襲内視鏡手術(ウロリフト)
- 難治性過活動膀胱に対するボトックス膀胱壁内注入療法

放射線治療科

得意な疾患

- 種々の悪性腫瘍(がん)

得意な治療

- がんの根治から症状緩和までオールラウンドに対応する放射線治療

New 新しく導入した治療

- 新装置による患者さんにさらに優しい放射線治療

心臓血管外科

得意な疾患

- 大動脈緊急症

得意な治療

- 低侵襲外科手術
- 緊急手術

New 新しく導入した治療

- MICS(小切開低侵襲心臓手術)

皮膚科

得意な疾患

- 皮膚悪性腫瘍
- アトピー性皮膚炎

得意な治療

- 手術療法
- 難治性アトピーに対するJAK阻害薬、生物学的製剤の導入

腎臓内科

得意な疾患

- 慢性腎臓病

得意な治療

- 患者さんの状態に合わせた薬剤調節、生活指導
- ### New 新しく導入した治療
- SGLT2阻害薬や、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬などを組み合わせた腎保護治療

耳鼻咽喉科

得意な疾患

- 頭頸部腫瘍 ●耳疾患

得意な治療

- 手術全般
- チーム医療

New 新しく導入した治療

- 小児難聴外来を新設

救急科

得意な疾患

- 多種多様な症状、疾患

得意な治療

- 幅広い診断、治療

眼科

得意な疾患

- 白内障

得意な治療

- 白内障手術(希望に応じて入院治療)

New 新しく導入した治療

- アイリーア8mgの硝子体注射
(加齢黄斑変性症の治療)

血液内科

得意な疾患

- 悪性リンパ腫 ●急性白血病

得意な治療

- 分子標的治療
- 移植治療

New 新しく導入した治療

- 二重特異性抗体療法

整形外科

得意な疾患

- 変形性膝関節症

得意な治療

- 十字靭帯や外側関節を温存する低侵襲の単類型人工膝関節置換術

New 新しく導入した治療

- 本来のアライメント(骨・関節の配列)を再現するロボット人工関節手術

脳神経外科

得意な疾患

- 脳卒中 ●脳腫瘍

得意な治療

- 手術療法
- 血管内治療

New 新しく導入した治療

- 脳血管造影装置の更新

産婦人科

得意な疾患

- 卵巣がん、子宮がんをはじめとする婦人科がん
- 遺伝性疾患

得意な治療

- 持病、合併症のある妊娠管理
- 鏡視下手術(ロボット支援下手術・腹腔鏡下手術・子宮鏡下手術)

New 新しく導入した治療

- 高用量の鉄剤による貧血治療
- 子宮筋腫や過多月経に対する新しいホルモン治療

放射線科

得意な疾患

- 出血性疾患

得意な治療

- Coil、NBCAを用いた血管塞栓術

代謝・内分泌内科

得意な疾患

- 糖尿病 ●肥満症 ●内分泌疾患

得意な治療

- 糖尿病のインスリン治療
- 肥満症のGIP/GLP-1受容体作動薬治療

New 新しく導入した治療

- 肥満症のGLP-1受容体作動薬治療

緩和ケア内科

得意な疾患

- がん、悪性腫瘍

得意な治療

- がんによる痛みに対する薬物治療とケア
- 通院が負担になった、がん患者さんの自宅で過ごせるための支援

市民病院各診療科の得意な治療、最近のニュースをお伝えします

豊田市民病院 NOW ver.3

当院は、かかりつけ医より紹介状を持って受診いただくことに重点をおいた「紹介受診重点医療機関」として公表されております。

診療を希望される場合、まずは、かかりつけ医へご相談をお願いします。

New 新しく導入した治療

(令和7年6月現在)